

英単語をどんどん覚えたい人、必見！

フォニックスでわかる

英単語の覚え方

おもに書き方

・ローマ字読みよ、さようなら…

はじめに突然ですが、次の英単語は何と読むでしょうか？

map

make

「map」は「地図」という意味で、よく日本語でも「マップ」と書かれますね。

「make」は…。

わかっている人も、試しにローマ字読みしてみてください。どうなりますか？

そう、「マケ」！ になっちゃいますね。

正しくは、「作る」という意味の「メイク」です。

ローマ字の読み方、書き方をする人は、特に中1の人には多いです。

ローマ字を参考にする人に多い考え方・間違い方が…

「mapu」（…え、だって「マップ」なんだから「pu」でしょ？）

（「make」は「マケ」、「baseball」は「バセバルル」で覚える！）

（「取る」って「テイク」だったよな…じゃあスペルは「teik」みたいな感じだっけ？）

頑張ってる…単語を覚える努力は感じるんですが…。これだと、ずっと先まで苦労が多いんですよね。

ローマ字で英単語を覚えていくのはマラソン大会にサンダルで参加しちゃうみたいな感じです。サンダルで苦労して走るより、まず靴にはき替えようよ、と。その方が、遠くまで走れるよ、ということなんですね。

それで、「フォニックス」っていうのを知れば、…。

bake(焼く)、take(取る)、lake(湖)、face(顔)、like(好む)、rice(コメ)、fine(元気だ)……

などの単語も**全部、すぐに書けるようになります！**（※個人差があります）

…割とすぐに書けるようになります！

・フォニックスって？

●フォニックスは、英単語の、発音とつづり(書きかた)の関係をまとめた学習法のことです。

たとえば「map」は、m (ム) a (エア) p (プ) という音がくっついて「メアップ」という感じに読みます。

それが「make」になると、m (ム) a (エイ) k (ク) (e は読まない) という音になって、「メイク」と読むようになります。

(※英語の発音をカタカナで表記するには限界があります…わかりにくかったらごめんなさい。参考までに)

同じ「a」でも、a (エア) と読んだり a (エイ) と読んだり、ルールによって読み方が変わります。

このルールがフォニックスです。

(英語を読むのが苦手、単語を覚えるのが苦手という人は、効率の低い覚え方を使っている場合が少なくありません。ローマ字で覚えるのには限界があったり、まして「make」を「m-a-k-e(エム・エイ・ケイ・イー)」と一文字ずつ覚えていたりすると、覚えるのが大変です！フォニックスは、万能ではありません。でも、高校入試に必要な英単語のおよそ7割は、このフォニックスのルールで発音できるようになりますし、発音がわかる単語ならほとんど確実に「書く」こともできるようになります。)

前置きはこの辺にして、実際に見ていきましょう！

アルファベットの「a」は、単語の中では次のような読み方になります。

a

- ①「エア」…日本語の「ア」よりも口を横と縦に広げて「エ」の時の口みたいにする。
小さく「エ」を入れて「エア」と発音します。アとエを合わせたような音。
- ②「エイ」(アルファベット読み)…ABCのAは「エー」ではなく「エイ」です。
「エ」を強めに、「イ」を弱めに読みます。

①の読み方をする単語…apple (リンゴ) → 「エアポウ」 (「アポウ」と「エポウ」の間くらいに聞こえれば Good!)

ant (アリ) → 「エアントウ」など

ここで、前置きにした「map」を例にとって、「m」と「p」についても見てみましょう！

これは「a」と違って、弱く読みます。

それぞれを一音だけ発声すると、次のようになります。

m

「ム」…上下の唇をくっつけて
「ン」って言う感じに近いです。

p

「プ」…ささやくように弱く
「プ」って読みます。
2メートル離れた相手にさえ聞こえないくらい弱くてOKです笑
のどぼとけを触りながら日本語ではっきり「ぷ」って言うと、手に振動を感じます。一方、「p」だけで読むときは、のどは震えません。触りながらやってみよう！

これらをくっつけると…

m a p
ム エア プ

「ンメアップ」と「マップ」の間くらいに聞こえれば、きっとかなり上手い発音です！

「m」や「p」は、子音と呼びます。あまり大きく発声しません。

一方、「a」は母音のひとつです。これははっきり発声します。

英単語は、この子音と母音を組み合わせて音を作っている、というのがフォニックスの大事な基本です！

それでは、同様なフォニックスルールを持つ単語を覚えちゃいましょう！

b

「ブ」 …上下の唇をぎゅっとくっつけた状態から、ぱっと離して発声します。ゆっくり「ブ」と言うのではなく、短く切る感じで!

g

①「グ」 …口の奥の方で、弱く「グ」という感じですが。日本語だと口をすぼめて「ぐ」(ローマ字で [gu]) って言いますが、「ウ」の音まで出さないで、弱く「グ」です。

②「ジ」 …舌を、上の前歯の付け根の裏側あたりに付けて、離しながら「ジ」です。

プロ野球の巨人軍は「ジャイアンツ」ですね。「j」も同じように「ジ」です。

これらをくっつけると…

b

ブ

a

エア

g

グ

「ベッグ」と「バグ」の間くらいに聞こえれば、たぶんよく発音できています。

s

「ス」 …前歯を軽くくっつけてすき間から息を出す音です。これも、のどを触りながらはっきり「す」って言うと、のどが振動します。振動させずに、静かに、「ス」。息を出すだけ。寝息みたいなイメージでしょうか。スー…。

d

①「ドウ」 …舌を上あごにつけてから、一気に離して「ドウ」です。これも子音ですので、あまり大きいはっきりした音にはなりません。まずは「ドゥー」って伸ばして試してみましょう。次に、一切伸ばさずに「ドウ」って普通に言ってみましょう。最後にその「ドウ」を、半分の半分くらい短くして発声します。一瞬です。「ドウ」!(書いても伝わらない…)

これらをくっつけると…

s

ス

a

エア

d

ドウ

ゆっくり「スエアドウ」って試してみて、それを限りなく「サドウ」みたいに短くまとめると、たぶんばっちり OK です!

次回につづく